

令和7年度授業改善プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だてて)の授業に関して作成する。

・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。

・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。

・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名(技術科) 教科主任名 瀬端 悠

★教科・観点について  
学力向上のための調査・期末テストび学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。＜○成果 ▲課題＞

観点	前半～9月			後半～1月		次年度に向けて まとめ
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析(授業改善・プランの1次評価)	1次評価後の具体的な改善策
知識・技能	1年	○課題に興味をもって取り組もうとしている。 ○身近な製品が材料の特徴を生かして作られていることを理解している。	・実物や動画を利用し視覚的、体験的な学習を通して興味・関心を高める。 ・ノートや教科書等を活用して知識の定着を図る。	1年		
	2年	○作業には興味をもって取り組もうとしている。 ○身の回りの事象と結び付けて知識を獲得している。 ○授業で獲得した知識を活用して、作品作りに生かそうとしている。	・安全に正確な作業を行えるよう、掲示物や動画等を使用して取り組める環境を作る。 ・ノートや教科書等を活用して知識の定着を図る。	2年		
	3年	○作業には興味をもって取り組み、技能を習得するための練習には積極的に取り組むことができる。 ○授業で獲得した知識を活用して、作品作りに生かそうとしている。	・安全に正確な作業を行えるよう、掲示物や動画等を使用して取り組める環境を作る。 ・ノートや教科書等を活用して知識の定着を図る。	3年		
思考・判断・表現	1年	▲自分の生活と結び付けて、学習内容を理解できるようにし、実践ができるようにする。	・生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付ける時間を設定する。	1年		
	2年	▲生活の中で技術が果たしている役割について考え、よりよい生活に技術を活かそうとする。	・生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付ける時間を設定する。	2年		
	3年	▲生活の中で技術が果たしている役割について考え、よりよい生活に技術を活かそうとする。	・生活や社会との関連性を見い出して、そこから見えてくる課題を解決する仕組みを考え、実践を評価・改善し、表現する力を身に付ける時間を設定する。	3年		
主体的に学習に取り組む態度	1年	○中学校で初めて行う技術という教科についてのガイダンスを通して、関心を高めることができた。 ▲主体的に学習に取り組む姿勢を育む必要がある。	・ICT機器を使用し、作業の流れを確かめ興味・関心を高める。 ・身近な問題や課題を解決する学習を通じて、学習に対して自分ごととして捉えられるような資料等を提示していく。	1年		
	2年	○1年での学習を踏まえて、学習に主体的に取り組もうとする姿勢がプリントの記述から見て取れる生徒が増えた。 ▲生徒による取り組む姿勢の差が出ている。	・ICT機器を使用し、作業の流れを確かめ興味・関心を高める。 ・身近な問題や課題を解決する学習を通じて、学習に対して自分ごととして捉えられるような資料等を提示していく。	2年		
	3年	○新しい内容への興味・関心が高い。 ○積極的に授業内容について取り組む姿勢はある。	・ICT機器を使用し、作業の流れを確かめ興味・関心を高める。 ・適切な資料を提示することで、学習に対する意欲を高められるようにする。	3年		